

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



警告

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。



警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
 - 本機を落としてしまった
 - 本機内部に水や金属が入ってしまった
- このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない



水場での使用禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花瓶、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない



水濡れ禁止

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。



高温注意



感電注意

⊙記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。



分解禁止



ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。



電源プラグをコンセントから抜く



必ずする

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない



禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない



禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。



注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない



禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■ 配線コードに気をつける



注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

使用上のご注意

■ 音量を上げすぎない



- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない



磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

■ 移動時は接続コードをはずす

コードが傷つき火災や感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く

■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない



本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因となります。グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ 機器内部の点検について

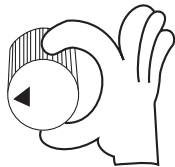
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

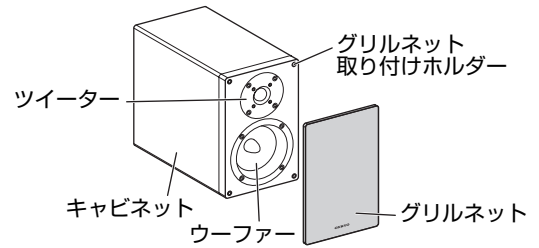
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



スピーカーについて

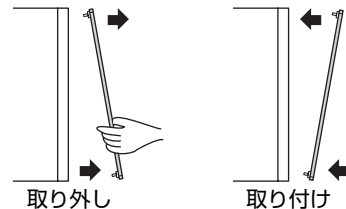


左右スピーカーの形は同じです、どちらを左側/右側で使用しても、音質は変わりません。

グリルネットの脱着

前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. グリルネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、グリルネットの下側をはずします。
2. 同じようにグリルネットの上側を手前に引っ張ると、グリルネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルネットの四隅にあるピンを本体のグリルネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。



はじめてスピーカーをお使いになる前に

- スピーカーキャビネットは木製ですので、極端な温度、湿度の変化は影響を与えることがあります。直射日光の当たる場所や、エアコン、加湿器、風呂場、調理台などの湿度の高い場所に置かないでください。
- スピーカーは、平らな場所に設置してください。不安定な場所に置くと、スピーカーが落下し、音質に影響を与えることがあります。
- 液体の入った容器を、スピーカーの近くに置かないでください。液体がスピーカーにかかった場合は、ウーファーやツイーターの内部が破損する恐れがあります。
- 濡れた手でスピーカーに触れないでください。

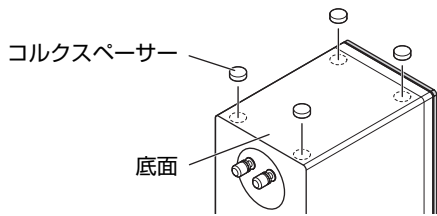
使用上のご注意

通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、入力電流が指定の定格内であったとしても、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますのでご注意ください：

1. FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
2. カセットテープデッキを早送りしたときの音
3. 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
4. アンプが発振しているとき
5. オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
6. ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
7. マイク使用時のハウリング

スピーカーには強力な磁石を採用していますのでドライバー等の金属を近づけないでください。振動板が破損する原因となります。

コルクスペーサーを使う



取り扱いについて

設置する際のご注意

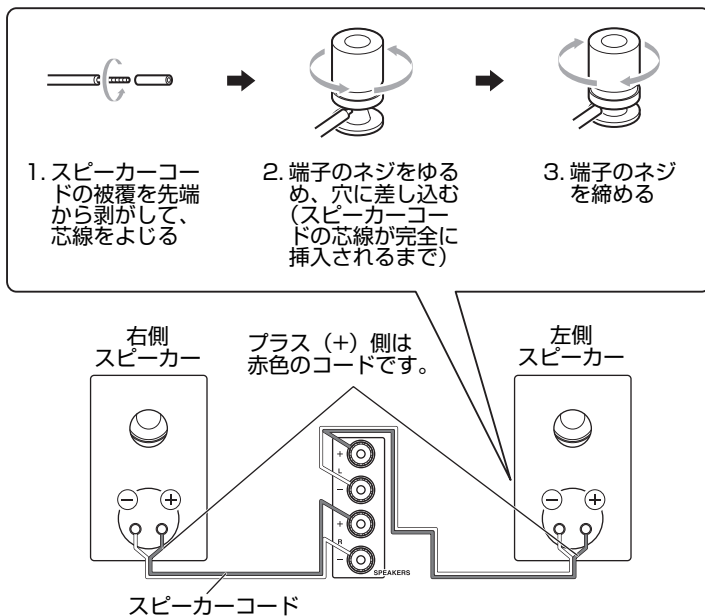
本機を設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑性^{かそざい}を含む製品に直接^{かそざい}接触しないようにご注意ください。本機の表面を被っている塗装皮膜は、可塑性を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。これを「可塑性の移行」と言い、可塑性を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑性が本機の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。滑り止めシートやソファなど、製品によって可塑性が含まれている場合があります。本機に接触することで色が移ったり、本機の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

* 可塑性とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニル（塩ビ、PVCとされることもあります。）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑性は次のような製品に使用されている場合があります。

- 合成皮革（ソファ、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

スピーカーを接続する

- 接続前に、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いてください。
- スピーカーの定格インピーダンスは4Ωです。接続するアンプは4Ωに対応したものをご使用ください。
- 付属のスピーカーコードを使用して、図のようにスピーカーをアンプに接続します。



スピーカー端子の種類と位置は、モデルごとに異なります。レシーバーにスピーカーを接続する場合、詳しくはレシーバーに付属の取扱説明書をご覧ください。

- スピーカーのプラス (+) 端子がアンプのプラス (+) 端子に、スピーカーのマイナス (-) 端子がアンプのマイナス (-) 端子に接続されるようにしてください。
- プラス (+) のコードとマイナス (-) のコードがショートしていないか確認してください。アンプが故障する原因になります。



テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。**本機は防磁設計ではありません。**ブラウン管テレビを本機の近くで使用になると、色むらやひずみが生じる場合があります。そのときは、本機をテレビから離してください。

主な仕様

形式：	2ウェイ バスレフ型
定格インピーダンス：	4Ω
最大入力：	70W
定格感度レベル：	83dB/W/m
定格周波数範囲：	55Hz-35kHz
クロスオーバー周波数：	2.5kHz
キャビネット内容積：	5.7リットル
外形寸法：	154×245×258mm
(幅×高さ×奥行)	(グリルネット、ターミナル突起部含む)
質量：	3.6kg
使用スピーカー	
ウーファー：	12cm N-OMF コーン型
ツイーター：	2.5cm ソフトドーム型
ターミナル：	バナナプラグ対応金メッキ真鍮削り出し スピーカーターミナル
防磁設計：	無
付属品：	スピーカーケーブル1.8m (2本) コルクスペーサー (8個) 取扱説明書 (本書1) 保証書(1) ユーザー登録ガイド(1)
その他：	グリルネット脱着可

- * 仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- * カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

※販売店の長期保証制度にご加入いただいた製品の保証期間内の修理は、お買い求めの販売店へご依頼いただくようお願いいたします。

■ 「送付」による修理をご希望の場合は

下記のオーディオリペアセンターへご送付ください。

〒682-0925 鳥取県倉吉市秋喜243番地

オンキヨー 鳥取オーディオリペアセンター 修理受付窓口宛 050-3161-9555

(詳しくは) <http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm>

(ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能)

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いいたします。

(詳しくは) <http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm>

(ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能)

■ 「出張修理」をご希望の場合、その他ご不明な点は

下記のオンキヨー オーディオコールセンターへご相談ください。

オーディオコールセンター 050-3161-9555 (IP電話)

(受付時間：10:00～18:00 土・日・祝日及び弊社で定める休業日を除きます)

※出張修理の際は、修理費用以外に出張費用が別途かかります。また、地域によっては、出張修理のできないエリアがございます。あらかじめご了承ください。

2012年1月現在 住所、電話番号、受付時間などは変更になる場合がございます。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障とされています。

この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または本書「オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前

▶ お電話番号

▶ ご住所

▶ 製品名 D-055

▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は本書「オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO

オンキヨー株式会社

〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：

オンキヨーオーディオコールセンター

☎ 050-3161-9555 (受付時間 10:00～18:00)

(土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます)

サービスとサポートのご案内：<http://www.jp.onkyo.com/support/>

SN 29401285

(C) Copyright 2012 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

Y1207-1



* 2 9 4 0 1 2 8 5 *